

平成 23 年度 キーワード医療実証事業 報告書について

厚生労働省医政局

はじめに

近年、医療の質や安全性の向上及び高度化・複雑化に伴う業務の増大に対応するため、多種多様なスタッフが各々の高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し、業務を分担するとともに、互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供する「チーム医療」が様々な医療現場で実践されている。

厚生労働省では、平成 22 年 5 月に設置した「チーム医療推進会議」の下に、同年 10 月にチーム医療推進方策検討ワーキンググループを立ち上げ、以来 8 回にわたり検討を重ね、平成 23 年 6 月にチーム医療を推進するための方策として「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」を取りまとめた。

今般、上記事例集を参考に、医療機関等の医療現場の関係者の協力を得て、これらの取組によって提供される医療サービスの安全性・効果等を実証したので、その内容を報告する。

1. チーム医療実証事業の目的

「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」を踏まえた取組を全国に普及させることを目指し、実際の取組によって提供可能となる医療サービスの安全性、効果等を実証するため、委託事業として医療機関等の医療現場の関係者の協力を得て行ったものである。

2. 選定施設

提出された申請書等について事務局において厳正に審査した結果、応募した 104 施設（200 チーム）のうち、68 施設（1 チーム実施 44 施設、複数チーム実施 24 施設）を実証事業の委託施設として選定。

| 区 分 | 施 設 数 | チ ーム 数 |
|----------------|-------|--------|
| 病 院（400 床以上） | 34 | 72 |
| 病 院（200～399 床） | 13 | 18 |
| 病 院（20～199 床） | 15 | 19 |
| 診療所等（薬局含む） | 6 | 6 |
| 計 | 68 | 115 |

3. ワーキンググループ委員による報告書へのコメント

事業年度終了後、実施施設から報告書を提出させ、今後、実施施設において当該取組を改善・推進していく観点から、提出された報告書について 115 チームそれぞれにつきワーキンググループ委員のうち、各チームの取組内容に関連する分野の委員 2～3 名程度のコメントを付記した。

4. チーム医療の更なる普及に向けて

- 医療機関等の医療現場の関係者の協力を得て、これらの取組によって得られた、医療サービスの安全性・効果等について本報告書を取りまとめ、取組内容について選定施設自らが評価を行い、また、課題等を抽出するとともに、チーム医療推進方策検討ワーキンググループの委員からも助言等をいただいた。
- チーム医療の在り方は、個々の医療機関の置かれている状況により異なるため、それぞれの現場に応じた取組、地域における人材確保等が必要である。
- チーム医療の評価方法についても同様に、取組内容によって評価すべき内容が異なること、チーム医療の取組以外の要素についても評価項目に影響を及ぼすこと等から、一律に評価項目を設定していくことは難しいと考えられるため、本事業においては、実施施設自らが、その取組内容について評価を行った。
- 一方で、より質の高い医療を効率的に提供するチーム医療を目指すためには、それを評価する共通の視点を持つことも必要であり、例えば、以下の視点が参考になるのではないかと思われる。
 - ① 各医療専門職がその専門性を発揮し、その組み合わせによりチーム医療が提供できるよう、その業務内容が各々の専門性に特化され、患者と接するようなものとなっているか。
 - ② 必要な時に適切な医療が患者に提供できるよう、診断・治療を標準化して、多くの専門職種が参加する業務の実施体制が構築されているか。
 - ③ 各医療スタッフがそれぞれの専門的視野で患者の状況を把握して判断しているか。
- 今後は、本報告書の具体的な取組内容、その効果等を広く周知すること、また、平成24年度に「チーム医療普及推進事業」を実施すること等により、チーム医療の更なる普及につながることを期待したい。

チーム医療推進方策検討ワーキンググループ委員名簿

【委員】

| | | |
|-----|-----|---|
| 市川 | 幾恵 | 昭和大学統括看護部長 |
| 遠藤 | 康弘 | 埼玉県済生会栗橋病院 院長 |
| 小川 | 克巳 | 沖縄リハビリテーション福祉学院 副学院長 |
| 小沼 | 利光 | 東京都済生会向島病院 医療技術部長 |
| 川越 | 厚 | クリニック川越 院長 |
| 川島 | 由起子 | 聖マリアンナ医科大学病院栄養部長 |
| 栗原 | 正紀 | 長崎リハビリテーション病院 理事長 |
| 鈴木 | 紀之 | 筑波メディカルセンター病院 法人事務局次長・副院長 |
| 高本 | 眞一 | 三井記念病院 院長 |
| 田口 | 良子 | 前 神奈川県三崎保健福祉事務所 保健福祉課長 |
| 玉城 | 嘉和 | 医療法人社団ピーエムエー理事長 |
| 近森 | 正幸 | 近森病院 院長 |
| 土屋 | 文人 | 国際医療福祉大学薬学部 特任教授 |
| 徳田 | 禎久 | 社会医療法人禎心会 理事長 |
| 中村 | 春基 | 兵庫県立総合リハビリテーションセンター リハビリテーション中央病院 リハビリ療法部長 |
| 原口 | 信次 | 東海大学医学部付属病院 診療技術部長 |
| 堀内 | 成子 | 聖路加産科クリニック副所長 |
| 松阪 | 淳 | 前 国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 臨床工学科 |
| 小森 | 貴 | 小森耳鼻咽喉科医院 院長 |
| 向井 | 美恵 | 昭和大学口腔ケアセンター長 |
| 森田 | 秋子 | 初台リハビリテーション病院 教育研修部長 |
| ○山口 | 徹 | 虎の門病院 院長 |

【オブザーバー】

| | | |
|----|----|-----------------------------|
| 岡本 | 征仁 | 札幌市消防局警防部救急課長 |
| 柏木 | 一恵 | 財団法人浅香山病院 社会復帰部長 |
| 須貝 | 和則 | 東埼玉総合病院医事課長 |
| 津川 | 律子 | 日本大学文理学部心理学科教授 |
| 取出 | 涼子 | 初台リハビリテーション病院 教育研修局 SW部門チーフ |
| 畠山 | 仁美 | 前 須坂市社会福祉協議会 事務局次長 |
| ○ | 座長 | |

千一△医療実証事業 報告書

【目 次】

- (1) 急性期分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- (2) 慢性期分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P91
- (3) 在宅分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 182
- (4) 感染管理の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 255
- (5) 栄養サポート等の分野・・・・・・・・・・・・・・・・ P 276
- (6) 薬剤師の活用、薬物療法等の分野・・・・・・・・ P 313
- (7) 医科歯科連携の分野・・・・・・・・・・・・・・・・ P 387
- (8) 個別疾病の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 451
- (9) 地域連携の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 572
- (10) 病院管理の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 590
- (11) その他の分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 608